国際ロータリー第2660地区
2005～2006年度

地区委員会

活動報告書

ガバナー　神崎　茂

目　次

地区委員会の活動に感謝します…… 1
地区ガバナー指名委員会…… 2
意義ある業績賞委員会…… 3
国際大会記念事業委員会…… 4
クラブ奉仕部門
　クラブ奉仕委員会…… 5
　拡大・増強委員会…… 8
　情報・広報委員会…… 9
職業奉仕部門
　職業奉仕委員会…… 11
社会奉仕部門
　社会奉仕委員会…… 13
青少年奉仕部門
　新世代合同委員長会議…… 15
　青少年活動委員会…… 16
　ローターアクト委員会…… 19
　第2660地区ローターアクト 2005～2006年度 地区行事…… 20
　インターアクト委員会…… 21
国際奉仕部門
　国際奉仕委員会…… 23
　世界社会奉仕委員会…… 24
　青少年交換委員会…… 25
ロータリー財団部門
　ロータリー財団委員会…… 26
　財団情報・増進委員会…… 27
　財団奨学金・学友委員会…… 28
　研究グループ交換委員会…… 29
　財団人道的補助金委員会…… 30
米山奨学部門
　米山奨学委員会…… 33
地区大会…… 36
ロータリーの友…… 38
財務委員会…… 40

Service above self — 101
地区委員会の活動に感謝します

ガバナー　神崎　茂

ロータリー創立以来、第二世紀初めの年に当る2005～2006年度、カール・ヴィルヘルム・ステンハマーRI会長の「Service above self」のテーマのもと「水保全」「識字率向上と教育」を強調事項として「他団体との協力」「継続性」「会員増強」「RI会長賞」等具体的方法論についても提唱されました。これを受けて当地区では「クラブの充実」と「職業奉仕を考えよう」を方針として取り上げてきました。

当地区86クラブがそれぞれ、懸命の努力によって数多くの奉仕活動を計画、実行され多大な成果をあげられました。これらのクラブ活動を強力に支援し、又指導されました地区委員会の皆様が智恵と時間とエネルギーを注いで尽力された結果であります。

地区委員会で活動された全てのロータリアンに対して敬意を表し感謝申し上げます。特に発足後四年目になるガバナー補佐制度は着実に定着し、今後の地区ガバナーの活動にとって強力な力となりつつあります。本年度は特に「RI会長賞」の推進力となって当地区から46クラブ（一つのローターアクトクラブを含む）の申請をすることが出来、会員数74人の増加（３月末現在）の成果となりました。世界的傾向としての会員数の減少問題は組織としての国際ロータリーの最大の課題であり、日本のロータリーとしてもこの流れの中にあり、100年を過ぎたロータリーの歴史の大きな節目にあります。本年初めの会員数が4,147名でスタートし、この６月の年度末の会員数が4,096人となりました。

一人一人のロータリアンがロータリアンであることに誇りを持てるようなロータリークラブを作り上げてゆきたいものだと念願する次第です。この視点からもCLP（Club Leadership Plan）に取り組む必要があります。これはクラブ会員数の大小とは関係なく、これからのロータリークラブのあり方を考える上で重要なRIからの提言であると思われます。

今回ガバナーとして地区委員会活動その他の地区行事全般に亘って参加して、これ程多くの努力が地区レベルで行われていることを初めて知り、感動とともに新しいロータリー観を持つことが出来ました。当地区全クラブのロータリアンの皆さんにお願いしたいことは、地区活動に関心を持って頂きたいことです。クラブの大小を問わず、各クラブから必ず地区委員を出すことによって一緒に活動する考え方を持って頂きたいと考えます。地区とクラブの一体化した活動によって一層のクラブの活性化が達成され、活力ある楽しいクラブライフにつながってゆくものと考えます。

次年度岩田ガバナーの活躍と地区委員会の活動に大いなる期待と希望を祈念致します。

皆さん有難うございました。

地区ガバナー指名委員会

委員長　宮田宏章（大阪北）
委　員　柏木　尚（豊　中）
同　寺田和之（大　阪）
同　井上暎夫（千　里）
同　若林紀男（大阪東）

2005年9月5日付及びガバナー月信(10月号)において、2008～2009年ガバナー・ノミニー候補推薦依頼を地区内全クラブに行いましたが、期日迄にお申し出がありませんでした。

そこで、国際ロータリー細則第13条及び当地区ガバナー指名委員会規約に基づき、2005年12月16日に開催された委員会において、慎重審議の結果全員一致をもって、大阪中央ロータリークラブ会員　横山守雄君を2008～2009年度国際ロータリー第2660地区ガバナー・ノミニー候補者として推薦することに決定致しました。

これにより2006年1月20日神崎茂ガバナーによって、横山守雄君を2008～2009年度ガバナー・ノミニーとして宣言がなされました。

委員会の皆様には大変御苦労をお掛け致しました。心より感謝申し上げ、報告とさせて頂きます。

意義ある業績賞委員会

委員長 宮田宏章（大阪北）
委　員 井上暎夫（千　里）
同　 若林紀男（大阪東）

RI意義ある業績賞の目的は、地域社会の問題やニーズに取り組んだクラブ活動を表彰することによって、新しいプロジェクトの実施がクラブ活動にとって重要であるとの認識を高めることにあります。

本年度の意義ある業績賞への推薦を全クラブにお願い致し、その締切期日を2005年12月22日と致しておりましたところ、10クラブと多数のクラブより申請を頂きました。

2006年２月３日に委員会を開催致し、慎重なる協議の結果、大阪御堂筋ロータリークラブのプロジェクト「遺伝子バンク創設」をRIに推薦することに決定致しました。推薦書をRI日本事務局に送付し、手続は全て完了致しました。そしてRI本部より大阪御堂筋ロータリークラブ会長宛にカール・ヴィルヘルム・ステンハマーRI会長よりのメッセージと共に「2005～2006年度意義ある業績賞」の正式な認定状が５月29日地区に届きました。

贈呈表彰は12月開催の地区大会に於いてガバナーより行われる予定であります。

表彰対象のプロジェクト内容は、当ロータリークラブのロータリアン全員が自ら先頭に立って、生活習慣病等の画期的治療を実現する医学、生命科学の研究に貢献することで始められ、当クラブ内だけでなく他クラブ、他地区へと広げたことはロータリーの奉仕の輪を広げる意義深いものがあります。

また、"I serve" の精神で10mlの血液とその時間を提供するだけで、金銭的な費用は一切かからないユニークな形の活動であります。これらの科学的成果は21世紀のオーダーメイド医療実現に大きな貢献をし、次世代へその恩恵をもたらすと考えられ、本年度RIテーマ "Service above self" に即したプロジェクトであると思われます。

国際大会記念事業委員会

特別顧問	近藤雅臣	(千　里)
委員長	若林紀男	(大阪東)
委　員	大谷　透	(大阪西南)
同	常楽寺喜雄	(東大阪東)
同	早嶋　茂	(大　阪)
同	長澤利治	(茨　木)
同	伊藤貞男	(大阪東)

当委員会は2004年5月23日～26日に開催された第95回RI国際大会の成功を記念し、大阪市民や国内外から訪れる人々から愛される緑あふれる豊かな環境となることを願って、2009年(完成予定)に開業される中之島新線の第1工区、第2工区(仮称　玉江橋駅～渡辺橋駅間)の遊歩道に「ロータリー・プロムナード(ロータリーの散歩道)」と名付けた植樹事業の遂行を担う委員会であります。事業そのものが少々ロングラン故に、本年度は市当局との情報交換、そして中之島高速鉄道㈱より工事進捗状況の把握に努めることにとどまりました。今後、市当局並びに中之島高速鉄道㈱との連携が一層必要となる事を考慮し、中之島高速鉄道㈱前社長の伊藤貞男氏(大阪東ロータリークラブ直前会長)を新たに委員として就任頂きました。

以上報告いたします。

クラブ奉仕部門

クラブ奉仕委員会

委員長　井上家昌（東大阪東）
副委員長　川上善司（大阪平野）
委　員　中島俊一朗（大阪南）
同　中野憲城（大阪城東）
同　杉本全司（吹田江坂）
同　中山賢（池田）
同　織田宗輔（東大阪）
同　石田秀（大阪西南）
同　金森市造（くずは）

1　2007年規定審議会準備関係

1）RIより各地区ガバナー宛 立法案の提出要請を受けて、ガバナー、地区規定審議会代表議員、吉川PGと今後の地区スケジュールの打合せを行いました。

①規定審議会開催は2007年4月22～28日

②RI立法案提出期限2006年6月30日

③当地区より提案のある場合、2005年12月9、10日の地区大会で承認（最高5件以内）

④各クラブや地区からの立法案提出期限を2005年10月31日として提案を関係者に要請しました。

この結果、当地区内からの立法案の提案はありませんでした。

今後はクラブとして3年に1度RIの組織規定の改正や決議案を提案できる貴重な機会として一層PRする必要があります。

2）各クラブの定款、細則整備についての指導。

特にクラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）によるRI推奨のクラブ細則が発表されて以来、従来の推奨細則と二本立てとなり、各クラブは対応について多くの照会事項がありました。地区としての方針やCLPの推奨細則内容説明や取り組み方等について委員会内で検討を行いました。又、2004年改正の定款やクラブの現状にマッチしたクラブ細則を整備するよう指導しました。

2　クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）関係

1）地区内でRI推奨のCLPによる委員会構成を採用を決定するクラブやこの機会に従来の四大奉仕を基にした委員会を簡素化を検討するクラブも出てきたことから、委員会の定例会でケーススタディとして研究を行いました。CLPを検討結果、その基礎となる「地区リーダーシップ・プラン」（DLP）の見直しと、CLPとの関連について地区レベルで検討する必要があると考えます。

2）各クラブからCLPについての卓話の要請が多数ありました。「クラブの活性化」はロータリーの活性化として、このCLPについてその基本的考え方について検討することをクラブに推奨し、当委員会作成の「クラブ奉仕部門重点項目チェックリスト」を利用することをすすめました。（クラブ活性化のための点検運動としてとらえる）

3）近隣地区2650、2680、2640地区でのCLPについて地区方針や具体的な取り組み状況等の情報収集や交換を行いました。特に2650地区については2005年９月４日地区主催のロータリー情報委員長会議に出席し、RI直前理事、当地区菅生PGの「ロータリークラブの活性化について」の講演とその中で今回のCLPはクラブの基盤強化することにより、究極的にクラブの強化する方法としてRIが推奨しているものであることから各クラブで十二分に検討することをおすすめするとの話があり、大変参考になりました。

4）IM組幹事会に当委員会よりも出席し、CLPについての説明をし、地区、地区内の動向について最新の情報を提供しました。G補佐のご提案でIM組幹事会の中に（IM４組）「地区リーダーシップ・プラン勉強会」の開催と新旧幹事の引継ぎ強化を実施されます。又、クラブ内においても「CLP検討委員会」「クラブ改革委員会」等の創設の動きも見られます。

3　地区内「ロータリー研究会」

2006年２月22日ガバナー事務所会議室にて開催し、大森PG始め、定員が一杯のロータリアンに参加していただき、有意義な会合となりました。

この会の主旨としましては、

1）出席者が主体の自由に意見交換する場

2）出来る限り、本音ベースで話し合え、ロータリーに対する課題を共有しあえる。

3）出席者同士が知り合える。

4）当委員会よりは出来るだけクラブ運営に役立つホットなニュース、資料を提供する。

いわば地区レベルの INFORMAL GROUP MEETING として地区内ロータリアン主体の会合となりました。

4　その他

1）2005年７月30日関西ロータリー研究会で大川直前G補佐の「地区内クラブの組織運営の現状問題点について」として講演され、地区クラブ奉仕部門関連の事項について補足説明を行いました。又、参加者より当地区使用のマニュアル（例：執務ハンドブッ

クやクラブ活性化のためのチェックリスト）について入手希望あり。

2）クラブ事務局で日常業務が円滑に、又事務員交代に備えて「クラブ事務局執務ハンドブック」の作成を完了し、各クラブへ配布の上、利用のPRを行いました。

3）個人情報保護法に関連して地区・クラブの対応について委員会内で検討しました。結果、まず①ロータリー全国名簿編集室への「ロータリー名簿」作成に当たっての対策の照会、②ロータリーの友で紹介された「会員推薦と個人情報保護法に関する一考」（第2780地区）について同地区との情報交換を行いましたが、今後関係者による対応が必要となります。

4）RIの地区の法人化について　RIからの資料を検討

5）会合

①２ヶ月に１度 地区クラブ奉仕委員会定例会議開催

②ガバナー補佐会議・IM組幹事会出席

③地区会員増強セミナー　（2005年９月３日）

地区クラブ広報委員長会議（2005年９月７日）

へ出席し、地区クラブ奉仕部門の３委員会の連携強化と対外広報と同時に『内なる広報』の重要性を強調しました。又、CLPの採択取り組み方の説明を行いました。

6）卓話銀行

卓話講師登録名簿を作成しました。

一般講師　30名　ロータリアン講師　12名　合計42名

2006年４月30日現在　利用件数　14件（ガバナー事務所に報告あり）

7）地区内各種クラブ運営マニュアル例の収集

①新入会員のガイドブック

②親睦活動委員会マニュアル

③会員増強・退会防止マニュアル

④会員選考・会員候補者推薦フォーム

⑤出席に関するマニュアル　等

地区外

①クラブ改革提言

②クラブ活力テスト、会員満足度テスト

③新会員研修アンケート

④ロータリー情報マニュアル　等

8）今期、ガバナー事務所へ各クラブからの照会事項や相談が増えてきました。これには

①クラブにとってもなんでも聞き易い雰囲気作り

②他クラブの有意義な具体例等の情報提供

③ 当委員会委員にとっても事例研究の勉強になり、地区内クラブの現状の把握が出来る。の観点から今後とも「クラブが主体」をもとに一層委員会の支援の強化が必要と考えます。

拡大・増強委員会

委員長　住吉正敏（大阪城東）
副委員長　菅本憲市郎（新大阪）
委員　境高彦（大阪城南）
同　上西宏侑（大阪城東）
同　山田芙美江（大阪そねざき）

本年度は活動計画にのっとり、次のように活動致しました。

1）国際ロータリー3～4（A）ゾーン地区増強委員長会議
2005年6月7日(火)　於 大阪国際会議場
南園RI理事、渡辺RI理事エレクトをお迎えして
①「一主として退会防止について一」の講演会
②各地区の増強・退会防止のディスカッション

2）会員増強セミナー開催
2005年9月3日(土)　於：大阪厚生年金会館
（参加者）神崎G・亀岡2640地区PG・戸田PG
地区内全クラブの会長、増強委員長
①講演：「会員増強一今なぜ会員なのか一」　講師一亀岡PG
②講演：「ロータリーの活力一それは会員増強から」　講師一戸田PG
以上2つのテーマで講演会を実施致しました。

3）会員増強及び
拡大月間（8月）
地区内8クラブより卓話依頼を受け委員会メンバーにて実施

4）全国地区会員増強委員長合同セミナーの参加
2005年11月25日(金)　新高輪プリンスホテル
（参加者）元RI理事・RIMDRC板橋敏雄
（RIMZC）松宮剛、高橋文夫、岩崎稠、前川昭一
服部芳樹、亀岡弘（の各地区PDG）
①基調講演「ロータリー活性化の原点」板橋氏
②講演「ロータリー100年を経て」岩崎氏
③各地区の現状報告、各地区増強委員長

5）ガバナー補佐会議に出席
2005年4月10日　於　ガバナー事務所会議室

情報・広報委員会

委員長　中筋一朗（大阪西）
副委員長　荒井敬一郎（大阪北）
委　員　早嶋　茂（大　阪）
同　溝手敦信（大阪東）
同　木村芳樹（大阪南）
同　加登　孝（大阪大淀）
同　西村真一郎（大阪西）

本年度の地区情報・広報委員会の活動につきましては、地区の活動計画に記載いたし、また、昨年9月7日の各RCの委員長会議においても詳細にお話申し上げたところでありますが、その後の展開について以下のとおり報告いたします。

1．本年度のRIカール・ヴィルヘルム・ステンハマー会長は、RCの情報・広報部門に関して、公共イメージと題する目標を掲げられ、効果的な広報活動の展開を推奨せられたところでありますが、RCのパブリシティに関して、①少なくとも2回、RCの行事をマスコミにおいて大々的に報道をしてもらうこと、更に②公共奉仕アナウンスメントを新聞・ラジオ・テレビ等で広報をしてもらうことを薦めておられました。そこで当委員会としては、この意を体してRCにおける対外広報の推進を各会議において奨励し、マスコミ各社との交流をお願いしたところでありますが、例えば地区内の各RCが後援団体となる青少年スポーツ大会などにありましても、いくつかの新聞報道等において取り上げられ、充分といえないまでもRCのパブリシティ向上にとって、相応の効果をもたらせたものと思います。この活動にあっては、元来、各RCが適切な事業について、マスコミ各社が興味を持って対応されるような事業を選択するということが望まれることかと思われますが、地区の情報・広報委員会としては、どのようにサポートして行くべきか来るべき年度においても、引き続き検討すべきところかと思います。

2．すでに報告をしたところではありますが、一昨年(2004～2005)にあってはRI100周年を記念して、新聞紙面で2005年2月23日に「本日、国際ロータリーは、創立100周年を迎えました」と題した15段の記念広告をマスコミ三紙に掲出したところであります。本年度は、この記念広告の何らかの形による継続について、いろいろな角度から検討を加えたところであります。しかしながらあのような形での継続は、費用等の点から困難であるということになったところでありますが、なお、今後も検討を続けたいというのが委員会の結論であります。

3．情報・広報委員会の重要な活動計画の一つとして、マスコミ関係者との交流を密接にするという点があります。例年はマスコミ各社との間で懇親的な会合を開いていたのですが、本年は、委員会で討議した結果、委員会メンバーによるゼミナール形式により、ジャーナリストの方との懇談会を開催することを企画し、本年3月9日に講師として、テレビ大阪の専務取締役川越亨氏を招いて、RCの広報活動の問題点についてご指摘を受け、われわれ委員の側からも質疑応答の機会を得た次第であります。ゼミナー概要についてはガバナー月信の6月号に要約されているところであります。尚、このゼミナー形式の勉強会に加えて、講師と懇親の機会を持たせていただきましたが、RCとしてジャーナリストの方と交流を密接にする有効な機会が得られたものと思っております。ジャーナリストの方とシンポ形式、或いは、講演会形式等種々考えられるところでありますので今後も検討せられるよう望みたいと考えます。

職　業　奉　仕　部　門

職業奉仕委員会

委員長　岩本洋子（大阪そねざき）
副委員長　近藤嘉一（大阪ユニバーサルシティー）
委　員　北川勝治（大阪東）
同　辰野元彦（大阪東）
同　宮後　浩（大阪住之江）
同　早石　誠（大阪南）
同　村木　茂（新大阪）
同　畑田耕一（豊中）
同　嘉納秀一（大阪）
同　國田欣吾（くずは）

今年度も前年度に引き続いて、職業奉仕を「内なる職業奉仕」と「他者への職業奉仕」の2面に分けて活動することとしました。

記

「内なる職業奉仕」は、職業倫理を全うすることです。そのために4月の地区協議会に国際ロータリー第2680地区パストガバナー深川純一先生をお招きして、～ロータリーの職業奉仕～というご講話を頂きました。

深川先生曰く

「一生懸命に自分の仕事をすることが職業奉仕である、という考え方があります。

しかし、一生懸命に自分の仕事をすることは、ロータリアン以外の人達もしています。極端なことをいえば、暴力団でも一生懸命に自分の仕事をしています。しかし、これを職業奉仕と言うことはできません。

ロータリーは、毎週、例会に出てこいと言うのです。これが寄付団体であれば、毎週、例会を開く必要はありません。お金さえ集めれば良いのです。ロータリーはクリスチャンが毎週一回、教会に行って心を磨くように、必ず毎週一回の例会には出てこいというのです。そして、その心で自分の職業を全うせよと言うのです。」

第2番目の「他者への職業奉仕」は、ロータリアンに教育奉仕をお願いし、小学校・中学校への出前授業を推進しました。

8月27日、職業奉仕委員長会議に哲学者の鷲田清一先生にお出で頂き、「職業奉仕委員長のための出前授業」をして頂きました。演題は～職業を哲学する～です。

鷲田先生曰く

「旧体制の社会では職業選択の自由はありませんでした。職人の子は職人になり、木こりの子は木こりになり、農奴の子は農奴になったのです。近代社会になって職業の選択ができるようになりました。こうして、人は職業に生き甲斐や、人生そのものを求めるようになりました。職業に意義を見出すことは大切です。

私は大学の教師ですが、ロータリーには大学よりももっともっと多くのいろいろな職業の方がおられます。ロータリアンの皆さんに、小学生が職業選択の自由を享受するための情報を出前授業で与えて下さることを期待致します。」

各クラブでは毎年、新しい職業奉仕委員長が生まれます。地区委員会として、ロータリアンの職業について、繰り返し考える材料を提供することと致しました。

社　会　奉　仕　部　門

社会奉仕委員会

委員長　樋　上　幸　夫（摂　　津）
副委員長　若　宮　邦　弘（大阪天王寺）
同　浦　川　光　雄（箕面中央）
委　員　江　藤　光　哉（大　　阪）
同　由　上　時　善（吹　田　西）
同　小　林　君　夫（大阪大手前）
同　江　上　清　夫（豊中千里）
同　宮　田　　明（く　ず　は）

○クラブ社会奉仕委員長会議

2005年７月19日(火)　於：ホテル阪急エキスポパーク「月光」
参加者：神崎ガバナー、岩田ガバナー・エレクト、新谷ガバナー・ノミニー、
社会奉仕部門担当江藤地区幹事、地区社会奉仕委員、各RC社会奉仕委員長合計101名

大阪府赤十字血液センター献血副部長　河相憲良氏より、献血の現状についてのご報告。
大阪府健康福祉部からは課長補佐　森本明氏から大阪府における薬物乱用の現状と今後の薬物乱用防止啓発のあり方のご講話。

○豊かな環境づくり大阪府民会議

2005年12月21日(水)、2005年２月８日(水)、５月15日(月)、６月６日(火)
議題：豊な環境づくり大阪行動計画、おおさか環境賞、その他
参加者：地区社会奉仕委員会　環境問題担当　小林　君夫

○環境保全研修会

2006年１月23日(月)　於：佐川急便株式会社　関西支社
参加者：神崎ガバナー、岩田ガバナー・エレクト、新谷ガバナー・ノミニー、
地区社会奉仕委員、各RC社会奉仕委員長　合計71名

平成17年度「おおさか環境賞」事業者部門大賞を受賞された佐川急便株式会社への企業訪問。

富永真未主任より佐川急便株式会社関西支社の取り組みについてご説明があり、その後
①大阪コンタクトセンター
②佐川流通センター
③安全・環境車両の実車展示による説明　以上の３セクションの説明・見学。
さらに全体会議にて
（イ）物流業界と佐川急便について
（ロ）佐川急便の環境保全活動について
を本社CSR環境推進本部　齋藤光仁部長よりご説明頂きました。

○「春の全国交通安全運動」キャンペーン
2006年４月６日(木)　於：ツイン21　南プラザ
参加者：神崎ガバナー、高士地区代表幹事、地区社会奉仕委員、各ＲＣ社会奉仕委員長
合計36名

毎春恒例のキャンペーンには梶本徳彦大阪府副知事をはじめ、大阪府警本部の幹部、道路交通に関する行政・事業者・協賛団体そして当地区の各RC社会奉仕委員長が多数ご参加いただき、盛大に行われました。

○「ユネスコ・世界寺子屋運動」の協力依頼
エリーニ・ユネスコ協会よりの協力依頼に基づき、「ユネスコ・世界寺子屋運動」の協力を各クラブへ呼びかけた。各クラブの協力により合計745,915円の寄付が集まったとの報告を受けました。

○「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金に係わる「民間国連ヤング大使」の派遣
「ダメ。ゼッタイ。」（麻薬撲滅）国連支援募金運動において、全国の募金額56,628,022円（2005年12月10日現在）のうち、当地区の募金額1,404,607円が全国１位だったことにより、2005年度第13代「民間国連ヤング大使」に当地区のインターアクトクラブから鈴江祐希さん（大阪桐蔭高校２年）が特別枠で選ばれました。鈴江さんは３月17日に薬物乱用対策推進本部長 小泉内閣総理大臣を表敬訪問し、１週間ウイーンに赴き、「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金の寄付目録を国連薬物犯罪オフィス（UNODC）に贈呈しました。

青少年奉仕部門

新世代合同委員長会議

議　長　井上暎夫（千　　里）
　　泉　博朗（大阪住吉）
　　髙橋敏朗（守　　口）
　　田中啓之（大　　東）
　　土井晶三（高槻西）
　　溝畑正信（東大阪東）
　　加藤　隆（八　　尾）
　　山本和雄（大阪なにわ）

本会議は本来の青少年奉仕部門に属する3つの委員会（青少年活動・ローターアクト・インターアクト）に加え、青少年交換、財団奨学金・学友、研究グループ交換、米山奨学と4つの部門にまたがる委員会の委員長によって構成されております。

ロータリーが係る青少年関連の、これらの横断的な会議により情報の共有や協力体制によってより効果的な活動が計られるようにと設置されており、当地区独自の組織であります。

本年度も3回の会議によって役割を果たしてきました。

また、ロータリーのこれらのプログラムによってわれわれと係わってきた青少年の皆さんをわれわれの仲間に迎え入れたいとの機運が各委員会に出てきましたので、OB・OGを中心とした新クラブ結成に向け次年度に繋がる活動をして参りました。

ロータリー家族の理念を具現化するような次年度になるようメンバー一同がその確認を致しました。

青少年活動委員会

委員長	泉　博朗	(大阪住吉)	委員	三原敏彰	(大阪東)
副委員長	田中信明	(大阪鶴見)	同	宮次重郎	(大阪本町)
委員	前田葉子	(大阪リバーサイド)	同	西上博幸	(吹田江坂)
同	北山孝和	(大阪中央)	同	水﨑　勝	(寝屋川)
同	津本清次	(大阪淀川)	同	谷間庸子	(大阪そねざき)
同	片岡亥一郎	(大阪堂島)	同	杉本昌煥	(大阪北梅田)
同	柳川義行	(吹田)	同	金本恒二郎	(大阪天王寺)
同	澤田順司	(高槻西)			

青少年活動委員会は、RIの提唱事業でありますライラ（RYLA）を実施するとともに、ローターアクトの実践研修を目的とした少年少女ニコニコキャンプを実施し、かつ、各クラブの青少年活動正副委員長を通じて、各クラブに対し地区の方針および青少年奉仕活動の情報交換、研修を行う活動をいたしました。具体的には、ニコニコキャンプを１回、初級ライラ（RYLA）２回、上級ライラ１回、ライラワークショップを１回、クラブ正副委員長会議を２回、地区青少年活動委員会を６回実施しました。特に今年度は、青少年を指導する立場のロータリアンのための研修をライラワークショップという形で実施いたしました。

活動記録

（１）少年少女ニコニコキャンプ

ホストクラブ	大阪東ロータリークラブ
日　時	2005年８月５日(金)～７日(日)
場　所	大阪府立青少年海洋センター（岬町）
開催テーマ	「力を合わせ元気いっぱい母なる海へ漕ぎ出そう」
参加児童	56名（小学生４、５、６年）
参加ローターアクト	24名
登録ロータリアン	51名

（２）上級RYLAプレキャンプ

ホストクラブ	大阪本町ロータリークラブ
日　時	2005年９月10日(土)
場　所	新大阪「ココプラザ」(大阪市)
参加青少年	６名
参加ロータリアン	20名
開催テーマ	「自然とのふれあいから地球環境を考えよう」
サブテーマ	「自然と向き合って生活する方法」

（3）秋のRYLA

ホストクラブ　　大阪本町ロータリークラブ
日　　時　　2005年9月23日(金)～25日(日)
場　　所　　大阪市立信太山青少年野外活動センター（和泉市）
テーマ　　「自然とのふれあいから地球環境を考えよう」
参加青少年　　61名
登録ロータリアン　293名
参加チームライラ　3名

（4）上級RYLA

ホストクラブ　　大阪本町ロータリークラブ
日　　時　　2005年9月23日(金)～25日(日)
場　　所　　大阪市立信太山青少年野外活動センター（和泉市）
テーマ　　「自然とのふれあいから地球環境を考えよう」
参加青少年　　8名

（5）春のRYLA

ホストクラブ　　吹田江坂ロータリークラブ
日　　時　　2006年5月3日(水)～5日(金)
場　　所　　大阪府立青少年海洋センター(岬町)
テーマ　　「明日にチャレンジ！ひらこう未来を君たちの手で！」
参加青少年　　79名
登録ロータリアン　506名
参加チームライラ　4名

（6）ライラワークショップ

ホストクラブ　　吹田江坂ロータリークラブ
日　　時　　2006年5月13日(土)
テーマ　　「鹿児島に伝わる郷中教育の意義」
講　　師　　西郷隆文氏
討　論　会　　「青少年奉仕について」
参加ロータリアン　110名

（7）クラブ正副委員長会議

第1回

日　　時　　2005年9月23日(金)
場　　所　　大阪市立信太山青少年野外活動センター（和泉市）

参加ロータリアン　　90名
実施内容　　クラブ活動報告、RYLA見学
第２回
日　　時　　2006年５月13日(土)
場　　所　　大阪南港ATCコンベンションルーム（大阪市）
参加ロータリアン　89名
実施内容　　クラブ活動報告、ライラワークショップ参加

（８）青少年活動委員会
第１回　2005年７月21日
第２回　2005年９月10日
第３回　2005年11月16日
第４回　2006年２月15日
第５回　2006年３月10日
第６回　2006年５月３日

（９）新世代月間および青少年関連卓話派遣
８月24日　池田ＲＣ　　泉　　博朗
９月６日　大阪鶴見ＲＣ　　泉　　博朗
９月16日　大阪大手前ＲＣ　泉　　博朗
９月16日　大阪住吉ＲＣ　　酒井　洋幸氏
９月26日　大阪船場ＲＣ　　泉　　博朗
10月４日　吹田江坂ＲＣ　　泉　　博朗
11月17日　大阪東ＲＣ　　泉　　博朗

以上が活動報告です。本年度も無事完了いたしましたことは地区委員ならびに、ホストの皆様の尽力の賜物であると思います。

ローターアクト委員会

委員長　**髙橋敏朗**（守口）
副委員長　**渡部冨士雄**（大阪住吉）
同　**竹村ルミ子**（茨木東）
委員　**山内康俊**（大阪西）
同　**辻本一義**（東大阪）
同　**石田肇**（東大阪東）
同　**吉岡崇**（池田）
同　**湯木尚治**（大阪）
同　**井本惠章**（大阪北）
同　**坂田哲男**（大阪御堂筋）
同　**中北清**（大阪南）
同　**津本清次**（大阪淀川）
同　**疋田陽造**（吹田）
同　**田中英雄**（高槻）

1．地区内のロータリークラブの皆様にローターアクトの事を理解して頂くために、まずRAC未提唱クラブの青少年活動委員長と共にRAC正副委員長会議でRACの勉強会を2回行いました。（日時はローターアクト地区行事参照）
2．RAC役員会と協力し、地区行事の準備運営を行いました。
（日時はローターアクト地区行事参照）
3．青少年活動委員会と連携をとりRACのメンバーがニコニコキャンプ、ライラ等に参加するように働きかけました。
4．地区委員が北、中、南ゾーンに分かれて担当してそれぞれが月2回の役員会と毎月開催される各連絡協議会に出席してRACの相談相手、アドバイザーとして関わりました。
5．RACの今年度地区ターゲットは「広げよう、人、夢、未来へ」前年度のターゲットを受けてそれを進めていくことにより本来の若さを全面的にだしてRACの活動を行っています。
6．提唱ロータリーとの関係をより良く築き、RACを知ってもらいます。
7．RACのメンバー達は1年間活動を行い、地区内メンバーがそれぞれ充実した活動を行いました。

R.I.

ROTARACT DISTRICT 2660

国際ロータリー第2660地区ローターアクト
2005～2006年度　地区行事

年	月	日	曜日	行事名	ホスト	備考
05	7	9	土	第1回RAC正副委員長会議	地区RA委員	
		24	日	第1回地区献血	大阪北RAC	
		24	日	第1回地区連絡協議会	大阪梅田RAC	
	8	5～7	金～日	少年少女ニコニコキャンプ	大阪東RC	淡輪
		27	土	第1回海外研修オリエンテーション	RA地区役員	
	9	11	日	全国統一アクトの日	吹田RAC	
		17	土	第2回海外研修オリエンテーション	RA地区役員	
		23～25	金～日	秋のライラ	大阪本町RC	信太山
	11	4～6	金～日	海外研修	RA地区役員	RI第3450地区　香港
		13	日	2640・2660地区交流会	2660地区RA	
		20	日	インターアクト年次大会	大阪相愛中学・高校	
	12	9～10	金～土	RC地区大会	大阪西RC	
06	2	4	土	第2回正副委員長会議	地区RA委員	
		18～19	土～日	第18回全国ローターアクト研修会	2640地区RA	
		26	日	第2回地区献血	寝屋川RAC	
		26	日	第2回地区連絡協議会	大阪住吉RAC	
	3	19	日	世界RAC　DAY	茨木RAC	
	4	16	日	新旧理事役員研修会	守口RAC	
	5	3～5	水～金	春のライラ	吹田江坂RC	淡輪
		21	日	地区年次大会	東大阪RAC	USJ
	6	11	日	リーダーシップフォーラム・新人研修会	池田RAC	

インターアクト委員会

委員長　田中啓之（大　東）
副委員長　塩野秀作（大　阪）
委　員　松林　寛（大阪南）
同　大戸道彦（大阪住吉）
同　和田　健（大阪阪南）
同　吉本憲司（八　尾）
同　高山修治（大阪南西）

当地区では７RCの提唱で７インターアクトクラブが、各学校を基盤として国際理解を深める活動や、地域の奉仕活動を行っております。

今年度地区行事は、ご担当いただくロータリークラブや、インターアクトクラブのご理解とご協力のもと下記の活動を実施しました。

《活動項目とテーマ》

Service above self （超我の奉仕）

国際理解と地域奉仕

《活動状況》

１．年次大会

神崎ガバナー他各代表の挨拶や、IACの活動報告を行い、午後には参加者155名全員で〝御堂筋の清掃活動〟に出かけて、集めたゴミは大きなビニール袋８個となりました。

講評を井上新世代委員長会議議長よりいただき閉会しました。

広報として、清掃活動の様子が地域社会奉仕としてNHKや読売テレビのニュース、読売・毎日・産経新聞などで大きく報道されました。

２．海外研修

シンガポールRCのお世話でラッフルズJCとヘンダーソン子供施設を訪問し、現地インターアクターと終日一緒にスポーツカーニバルに参加したり子供たちと風船や紙細工、唄の交換などを行ない、すっかり打ち解けた交流ができました。またチャイナタウン、インド人街、アラブ人街などの異文化に接することで国際理解を深めることが出来ました。ありがとうございます。交流の様子は地区大会などでビデオ放映したり、写真集で発表しております。

３．SCRUMの発行

年次大会、海外研修、昨年の新入生歓迎会の模様と共に、各校IACの活動として学校周

辺の清掃や、障害者施設の慰問、アジアに井戸募金、あしなが募金、災害救助募金などいろいろの活動が紹介されました。

4．新入生歓迎会

05年新入生を迎えて各校IACと顧問の先生、ロータリアンが一緒になってバーベキューを楽しみ、焼き杉板作りなど一気にコミュニケーションができました。

5．『ダメ。ゼッタイ。』民間国連ヤング大使の派遣

05年度麻薬・覚せい剤乱用防止活動の民間国連ヤング大使6名のうち1名に、地区IACから鈴江祐希さん（大阪桐蔭高校2年）が特別枠で選ばれました。

鈴江さん達は、3月17日に小泉内閣総理大臣を表敬訪問し、激励をうけたあと1週間の予定でウィーンに赴き、『ダメ。ゼッタイ。』国連支援募金の寄付目録を国連オフィスに贈呈し、天野大使との面談や、各種施設の見学など大変充実した活動が出来ました。

国　際　奉　仕　部　門

国際奉仕委員会

委員長　盛田三五（大阪東）
副委員長　島井宏子（大阪北梅田）
委　員　更家悠介（大　阪）
同　森田豊成（大阪東）
同　横山順治郎（大阪南）
同　四宮孝郎（大阪西南）

1．RIから発せられる情報を地区クラブに有効に流せるシステムの構築を検討してきました。（本年度で検討段階は終わり、次年度以降実際に活動を開始する予定。）

2．一層の海外提携クラブとの交流促進を図るべく、地区内各クラブ別の提携、交流状況のアンケートを実施し最新の実態を把握した。トラブルを排し、有効かつ実効のある交流を促進する為のマニュアルの作成を検討。

3．地区内クラブの要請により、２月の世界理解月間のフォーラムに講師として講演。

4．国際大会に関する資料を要望に応じてクラブに配布、

5．RIゾーンコーディネーター主催の〝水フォーラム〟に実行部隊として協賛。

世界社会奉仕委員会

委員長　植村　宏一郎（大阪平野）
副委員長　宮里　唯子（茨木西）
委員　三村　恵造（大阪西北）
同　芦邊　康徳（大阪心斎橋）
同　畳谷　久仁子（吹田）
同　家村　武志（吹田西）
同　青山　快玄（大阪北梅田）
同　岩田　宙造（大阪南）

1．地区クラブ世界社会奉仕委員長会議を下記の通り行った。

第1回　委員長会議　大阪薬業年金会館　2005年7月16日（土）

86クラブすべてが独自のW.C.S活動を行っていただく為に地区委員が活動のお手伝いを行うことと世界中で貧困に苦しむ人々の為にW.C.S活動の重要性と必要性を訴え、又今年度RI重要事項、「水保全、保健、識字率向上」を特に強調した（D.D.F W.F）使用についての説明を人道的補助金委員長よりしていただいた。

第2回　委員長会議　大阪薬業年金会館　2006年3月18日（土）

86クラブの活動報告及び進捗状況をまとめ、一覧表を全委員長に渡し、説明した。地区W.C.S活動の説明を行った。

2．地区世界社会奉仕委員会を下記の通り行った。

①2005年7月13日（水）　②2005年9月14日（水）　③2005年10月12日（水）
④2005年11月16日（水）　⑤2005年12月14日（水）　⑥2006年1月19日（水）
⑦2006年2月15日（水）　⑧2006年3月15日（水）　⑨2006年4月12日（水）
⑩2006年5月17日（水）　⑪2006年6月14日（水）

すべてガバナー事務所にて内容は省略

3．地区世界社会奉仕活動

「水保全」「保健」を中心に下記の通りに調査、発掘及び支援活動を行った。

1）カンボジア　シムリアップ　スワイツウビレッジ
（貧困農村に井戸設置のプロジェクト）

2）ミャンマー　ヤンゴン　シュエビタ地区
（火災による緊急援助及び井戸、トイレ設置プロジェクト）

3）タイ　アムナーチャラン県
小中学校10校に貯水タンク、及び浄化装置設置プロジェクト

4）インドネシア　バリ・テンパサール

貧困農村に貯水タンク、給水タンク、給水パイプ浄化装置設置プロジェクト

5）インドネシア　ジョグジャカルタ　孤児院

貯水タンク、浄水器設置プロジェクト

5）カンボジア　プノンペン

貧困農村地区　井戸20基の建設及び管理維持プロジェクト

すべて地区委員が現地視察及び調査を行った。

この一年を通じて86クラブ中、66クラブが独自のW.C.S活動を行われ地区協同「水保全プロジェクト」に参加されたクラブは15クラブであった。又2660地区のW.C.S.活動支援総額は2945万（２月24日調べ）で多額の支援金が貧しい人々の為に有効に使用された。少し残念なのは、地区補助金の申請が少なかったことですが、神崎ガバナー自ら、水の重要性を全クラブに訴えられ、殆どのクラブがW.C.S活動について、真剣に取り組んでいただけたと思う。

青少年交換委員会

委員長	**土井晶三**（高槻西）	委員	**三木優**（大阪イブニング）
副委員長	**植田豊實**（箕面中央）	同	**西野博子**（大阪イブニング）
委員	**近藤眞道**（高槻西）	同	**泉寛治**（八尾中央）
同	**徳岡昭七郎**（大阪天満橋）	同	**西川知行**（高槻西）
同	**岡田俊作**（大阪本町）	同	**葛尾都志樹**（大阪ちゃやまち）
同	**武市智寿**（大阪鶴見）		

今年度は、派遣10名・来日12名の交換を行いました。

派遣学生の１名がビザ習得後に通学中の学校からストップがかかるという悲しい結果になりました。事前に学校との連絡を密にしておくことを改めて痛感させられました。

例年の地区行事（スキー旅行・広島研修旅行）も、2680地区の来日、派遣学生合同により30余名の参加者で大いに盛り上がりを得ました。特に次年度派遣学生諸君には派遣先の来日学生との情報交換が出来、参考になる事が多かった事と感じております。

出来れば今後共地区を超えた参加を促し、他地区との来日・派遣の交流を推進していくべきだと思っております。

派遣学生の応募に対する、希望者の減少がここ２年程続いて来ております。この問題の一つの要因は、受入クラブにおけるホストファミリーの問題が最大の原因であると思われます。今後、この解決に向けて委員会として取り組んでいく必要があります。

また当分会員の増が見込まれない状況ではありますが、最低13名位の交換を実施する事を目標としていきたく思っておりますので、86クラブ会員方々のご協力とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

ロータリー財団部門

ロータリー財団委員会

委員長 **横山守雄**（大阪中央）

1．当委員会は地区財団4委員会と協力し、各クラブ・ロータリアンに対して財団の活動プログラムへの積極的な参加を奨励し、財団寄付に対する理解と協力を促進する役割を担っておりますが、各委員の真摯な努力で所期の活動目的を達成することが出来ました。

2．財団の各種の補助金プログラムにつきましては、前年度が丁度ロータリー100周年度で、その特別記念年度に因んだ社会・国際奉仕プロジェクトが殆どのクラブで実施された為、本年度はその反動で各クラブの奉仕プロジェクトの数や量は若干スケールダウンするという結果になりましたものの、各クラブでの利用は定着しつつあります。今後の補助金プログラムの運用方法を更に改善して行けば各クラブにおける奉仕活動推進に大いに役立つものと思われます。

3．国際親善奨学生プログラムはDDFが年々減少している中で、その派遣活動は厳しくなりつつあります。しかし奨学金・学友委員会には「ロータリー世界平和フェロー」プログラムに加えて、本年度より新たに「ロータリー平和及び紛争解決」プログラムが導入されました。今後、地区財団委員会と各クラブの活動プログラムは一段と多様化したものになります。

4．本年度のGSE活動は、タイミングよく国際大会開催国スエーデンへの派遣があり、そして次年度はトルコとの交換が決定し、各クラブの国際親善・交流活動促進に役立ったものと思われます。

5．財団への寄付増進は各クラブで、「全てのロータリアンが毎年少なくとも100ドル以上の寄付を」というテーマに関し、まだ一部のロータリアンに誤解があり、十分な理解と協力が得られておりません。次年度以降も機会がある毎に各クラブへの情報提供と説明を重ねて行く必要があります。

6．主な開催行事及び会議

＊地区財団セミナー　＊クラブ財団委員長会議　＊人道的補助金委員会審査会
＊国際親善奨学金委員会　＊財団地域セミナー　＊ＤＤＦシェア配分会議
＊財団月間クラブ卓話

財団情報・増進委員会

委員長　井川孝三（八　　尾）
副委員長　岸本健之亮（大阪北梅田）
委　　員　山本公平（大阪北）
同　　津和章雅（大阪城南）
同　　吉岡康雄（大阪西北）
同　　北村　　譲（大阪中之島）

財団の4委員会との連携を密にしながら、地区各クラブの財団委員会を通じてロータリー財団情報を提供し、財団活動に対する理解と浸透に努力した。又、寄付の増進については地区目標を達成すべき為、より一層の増進を図った。

1．委員会開催　年3回
1　7月27日　財団セミナーの為の準備
2　10月5日　委員長会議の準備
3　2月8日　次年度に向けての打ち合わせ

2．地区財団セミナー
・8月27日(土)　各クラブ会長、幹事、財団委員長　参加
本年度は、会長、財団委員長に加えて、幹事も参加し、財団の活動状況と寄付の現況と増進について説明。また、年次寄付額の減少について感心を各クラブの皆様にもっていただいた。

3．委員長会議
・10月22日(土)　各クラブ財団委員長　参加
地区補助金の活用と寄付の増進をテーマにテーブルミーティングを行う。
各クラブの年次寄付額設定のプロセスについて話し合う。

4．ロータリー財団月間
当地区の年次寄付額の減少、DDFのシェアダウンによる地区財政難を強調し増進を訴えた。

5．IM各クラブへの財団報告
各組別の報告書提出

6．ロータリークレジットカード入会の案内をした。

財団奨学金・学友委員会

委員長　溝畑正信（東大阪東）
副委員長　丹羽一郎（大阪東）
委　員　榊原春枝（大阪柏原）
同　栢本義臣（吹田西）
同　坂井孝彦（東大阪）
同　河野眞一郎（大阪北）
同　梅崎道夫（大阪城南）

ロータリーは第二世紀に入り、財団活動は益々発展してきていますが、一方、残念ながら、財団への寄付金の減少、DDFの配分額減少により、派遣学生の数は年々低下の一途をたどっています。2007～08年度の奨学生は８名しか選考できず、多数の優秀な国際親善奨学生候補を各クラブより推薦頂きながら、大変厳しい状況になっています。会員皆様の一層のご理解、ご協力をお願いする次第です。

報　告

1．2005～2006年度派遣奨学生：９名（うちマルチイヤー２名）はそれぞれの国で勉強しています。アメリカ、イギリス、ロシア、イタリア、フランス、オーストリアと幅広く、国際親善の目的を果たして間もなく帰国します。また、2005～2007年度世界平和フェローの寺西悦子さんはオーストラリア・クイーンズランド大学大学院政治国際問題研究科・平和紛争解決専攻で学んでいます。

2．文化研修のための国際親善奨学生：本年度は３名（３か月２名、６ヶ月１名）来日。大阪YWCA日本語学校で日本語を学びながら、日本の文化について学んでいます。
Hu Chia-Yun(台湾)ホストクラブ　東大阪東RC(2005年10月５日来日～同年12月25日帰国)
Wang Yi-Ling(台湾)ホストクラブ　大阪柏原RC(2005年10月６日来日～同年12月18日帰国)
Gauvain,Michel(イタリア)ホストクラブ　大阪北RC(2006年４月１日来日、現在勉学中)

3．2005～2006年度来日１学年度国際親善奨学生：１名。
Draper,James Glynn(アメリカ)ホストクラブ　大阪鶴見RC(2006年１月23日来日)
関西外国語大学に留学中

4．2006～07年度ロータリー財団国際親善奨学生８名を2005年６月に選考しました。
2005年９月３日(土)　第１回オリエンテーションおよび歓迎会
講話　1.「ロータリーについて」　直前ガバナー　宮田宏章
　　2.「超大国アメリカに暮らしてみて」　元財団奨学生（NHK勤務）　田中真理
国際親善奨学生歓迎会、帰国報告会（PSC主催）
2006年３月４日(土)　第２回オリエンテーション
JT生命誌研究館見学と講話

講話 「語る科学　観る科学」　JT生命誌研究館スタッフ　山岸　敦

PSC主催による留学情報交換会、帰国報告会

2006年6月24日(土)　第3回オリエンテーションおよび歓送会

講話　横山守雄財団委員長

奨学生候補による日本の歴史と文化に関するプレゼンテーション

帰国奨学生の報告会、歓送会

オリエンテーションの詳細については、ガバナー月信にその都度掲載

5．財団月間での卓話

6．委員会開催6回、地区財団セミナー、クラブ財団委員長会議、地区ロータリー財団委員会、地区新世代合同委員長会議、財団地域セミナー

7．PSC（財団学友）活動

奨学生候補に対する留学支援（メーリングリスト、ホームページを通じて）

奨学生の歓送会、帰国奨学生の帰国歓迎会、忘年会などによる親睦と交流会の開催

財団月間ではクラブ例会での卓話に多数のPSCメンバーを派遣

地区ホームページに「PSCだより」「学友名簿」のアップ

その他例会の開催、他の新世代との親睦会

PSCだよりは、従来印刷物を発行していましたが、予算の関係上、今年度はホームページ上に掲載し、必要時に印刷するかたちを採りました。ご覧下さい。

8．2007～2008年度のロータリー財団国際親善奨学生の募集と選考

本年度は8名の優秀な奨学生候補を選考しました。

研究グループ交換委員会

委員長	**加藤　隆**	(八　尾)
副委員長	**吉田　弘**	(枚　方)
委　員	**野村正勝**	(箕面中央)
同	**岩城邦廣**	(摂　津)
同	**後藤二郎**	(大阪北)
同	**田中潤治**	(大阪西北)
同	**武田太郎**	(大阪南)
同	**松井隆雄**	(大阪天王寺)
同	**岩田宙造**	(大阪南)

前年度のGSE受入のスエーデン第2390地区への第2660地区GSEチームの派遣を実施しプログラムの目的である両地区の国際親善に多大の成果をあげる事が出来た。

当地区始まって以来の女性団員４名に女性団長と女性ばかりのチームを構成したが受入地区からの報告も大変素晴らしく大成功であったと確信しています。今後も若い職業人のGSEチームをプログラム存続中は世界の交換したことの無い新しい地区と実現し世界平和を追求する為にも世界中に国際ネットワークを築き上げて行きたいと考えています。

2005～2006年度スウェーデン派遣GSEチーム

団長　西野　博子（大阪イブニングRC）

団員　金谷　美加

　　桂川　直子

　　梅辻　真希

　　永井　里美

（団員面接は英会話能力、職業研修に対する明確な目標意識、親善大使としての能力をガバナー、委員会全員参加で確認し決定した）

派遣スケジュール

2006年５月２日　関空出発

　　６月４日　関空帰国

GSEアルムニ会

スウェーデン派遣チームに対する教育、情報提供、助言等地区GSE委員会主催に限らず派遣チームの全ての会合、打合せ会参画し、チームの全面的サポートを担当してもらった。

財団月間の地区クラブへの卓話にも財団委員会の一員として積極的な協力をした。

財団人道的補助金委員会

委員長　**福家　宏**（八尾中央）

副委員長　**白方誠彌**（大阪淀川）

委　員　**横井憲二**（八　尾）

委　員　**岩津陽介**（大阪御堂筋）

委　員　**辻川功一**（大阪中央）

委　員　**寺本美津子**（大阪そねざき）

2005～06年度 人道的分野へのDDF配分額は＄123,000である。

このうち地区補助金に＄63,000、マッチング・グラントに＄60,000が配分された。

プロジェクトへのDDF配分状況（5月15日現在）

（1）地区補助金（District Designated Grant）

1.	大阪難波	小学校に文楽人形櫓の寄贈	¥168,000
2.	大阪城	在宅サービスセンターで慰問音楽会開催	¥80,850
3.	大阪リバーサイド	大阪市駅周辺の清掃活動	¥123,200
4.	箕面	消防署に自動体外式除細動装置（AED）を寄贈	¥168,000
5.	大阪阿倍野	ﾍﾞﾄﾅﾑの幼稚園小学校児童に遊具・教材・備品の寄贈	¥168,000
6.	大東中央	在宅子育て家庭支援施設に遊具・教育用具の提供	¥168,000
7.	交野	桜の植樹と自然環境講演	¥168,000
8.	八尾中央	福祉ボランティアセンターにパソコンの寄贈	¥160,048
9.	大阪南	乳児院に遊戯室内に設置する備品の寄贈	¥148,624
10.	大阪ちゃやまち	老人ホームでクリスマス会の開催	¥168,000
11.	八尾	児童の英語に対する興味・関心と高める活動実施	¥168,000
12.	くずは	ビニール製防犯プレート版の作成・寄贈	¥168,000
13.	枚方	桜の植樹と自然環境講演	¥158,256
14.	大阪そねざき	児童養護施設および乳児院への支援活動	¥110,880
15.	大阪御堂筋	オーダーメイド医療実現化のための講演会	¥177,000
16.	大阪鶴見	職業訓練施設に木工機械類、保護施設用二段ベッド寄贈	¥177,000
17.	池田くれは	衛生環境改善の為の水タンクと自立支援の為のパソコン寄贈	¥177,000
18.	吹田	重度心身障害児童支援の為に弦楽器寄贈	¥126,540
19.	大阪城南	ひったくり防止カバーを配布	¥167,914
20.	大阪うつぼ	盲導犬訓練センター見学と清掃活動	¥169,920
21.	東大阪東	無料よろず相談会	¥295,000
22.	大阪天王寺	重症心身障害児・者用施設にストレッチャーを寄贈	¥295,000
23.	大阪南西	デイサービスセンターにデジタルプラズマテレビ寄贈	¥155,052
24.	茨木	養護学校にAED、学習教材の寄贈	¥190,688
25.	大阪ちゃやまち	知的障害者のためのレクリエーション開催	¥283,200
26.	大阪中央	情緒障害児施設で革細工を教えバーベキューを実施	¥210,040
	合　計		¥4,550,212

利用可能な地区補助金総額は＄63,000（＄1.00＝¥118）¥7,434,000であり、利用率は金額では61.2%、クラブ数としては30.2%。（参考：04～05年度利用率は金額では90.2%、クラブ数では46.5%）

（2）マッチング・グラント（Matching Grant）

1.	茨木	インドネシア・ジョグジャカルタ小児の口唇口蓋手術支援	＄3,000
2.	大阪梅田	台湾の山村での水資源改善計画（灌漑用水、生活用水）	＄5,000
3.	東大阪東	カンボジア、アツヒト村の衛生改善のため、シャワー用ソーラーシステム寄贈	＄3,000

4．大阪西南	京都の低所得者地域の保育所に遊具を寄贈		＄2,500
5．豊中	タイのカンチャナブリ７地域で清潔な飲料水提供のためのプロジェクト		＄5,000
6．大阪西北	タイの最貧地域の学校でのIT教育用PCの寄贈		＄2,100
合　計			＄20,600

利用可能なマッチング・グラント総額は＄60,000（＄1.00＝¥118）であり、利用率は金額では34.3%、クラブ数としては７％（参考：04～05年度利用率は金額では84.9%、クラブ数では12.8%）

米山奨学部門

米山奨学委員会

委員長　山本和雄（大阪なにわ）
副委員長　北川　哲（大阪南）
委　員　河口貴賦（大阪西）
同　永江　溥（大阪天満橋）
同　岡田義昭（大阪淀川）
同　奥谷英夫（千　里）
同　池田文治（大東中央）
同　朝比須峯子（大阪東淀）

○活動方針

①奨学寄付金の確保充実を計る。

②奨学生の選考。

③奨学生に対する充実した指導や助言を行い、奨学生と世話クラブ及びカウンセラー、そして留学生該当大学との円滑なコミュニケーションをはかれるよう協力調整する。

④学友（関西）との連絡及び連携の充実にあたる。

○活動計画

Ⅰ．募金目標　一人当たり２万円（普通寄付と特別寄付の合計額）

①普通寄付　一人当たり５千円以上お願いする。

②特別寄付　昨年度より表彰制度が新しくなり、米山功労者表彰が累計10万円毎になったことを受け、クラブ会員の皆様全員に米山功労者になっていただくよう協力要請する。

Ⅱ．2006学年度米山奨学生選考試験

①ロータリアンが望む優秀な奨学生の採用をする為に面接に重点を置き、更には、公平公正な採用基準を確立し定着化させる。

②申込期間　2005年10月１日から10月15日

③書類審査　2005年11月　地区委員会に依る資格審査と申込チェック

④書類選考会議　2005年12月

⑤面接試験　2006年１月

⑥最終選考会議　2006年２月

Ⅲ.

①年２回開催するカウンセラー研修会を定着させる。

②カウンセラーと指導教官との連携

③地区委員と大学との情報交換会の開催

④米山記念奨学事業の改変年度に歩調を合わせて地区委員は積極的にクラブ訪問をし、「米山の現況と地区活動」についてPRする。

Ⅳ.

①米山奨学生修了者のネットワークの完成と、有効利用について、各クラブに協力を要請する。

○活動結果について

Ⅰ. 寄付金がより多くの会員からご協力を得ると言う「すそ野」を拡げる意味の表彰制度の改変の啓蒙を徹底する事に依り、宮田ガバナー年度には、2660地区初の全国２位にランク付けされ、神崎ガバナー年度においても隣接の2650地区（２月末現在）についで第２位をキープすると言う多大のご理解を賜っております。

Ⅱ. 各世話クラブでお世話いただく奨学生がどのような選考試験を受けて合格するのかをより多くのロータリアンに理解賜る為にも、12名の選考委員が同一基準でこれに当たるべく、選考基準を明確化した。

①一国の奨学生が全体の50％を超えない。

②「より多くの大学」「より多くの国」を基準に選考した。

③勉学の優秀性もさる事ながら、その他の優秀性、即ち、人物、態度、物の考え方、性格、社会適応性、地域との協調性、日本文化の理解、奉仕活動をする意志、将来の方針等について、面接に重点を置いた選考をした。

Ⅲ.

①カウンセラー研修会を定着させた。

②従来は奨学生に９月と３月にレポートの提出を求めていたが、奨学生の勉学の進捗状況を識る為にも同時期に指導教官よりのレポート提出を求めた。

③学校との情報交換を密にする為の学校訪問を昨年度実施したが、今年度は大学長・学生部長等の出席を願い、地区の方針・学校の実状・学校間の情報交換の中で米山奨学委員会在存の趣旨を理解願った。

④米山月間における卓話が、ともすれば「米山梅吉翁」の自伝に走りがちであったが「米山の現況と地区活動の内容」を理解頂くためにも46クラブに卓話の時間を頂いてPRにつとめた。

Ⅳ. 米山奨学生の追跡調査を学友会の協力を得て、ほぼ完成した。この追跡結果を各世話クラブにご通知申し上げ、週報、クラブ活動状況等を、定期的に送付し続ける事に依って交流を深めて頂きたいと存じております。

「太陽が輝いているのに向日葵が顔を向けない筈がない」――これが私の米山における基本姿勢であります。

Ⅴ．2006年度米山奨学生　2006年４月～2007年３月

継続受給者	４名
新規奨学生	35名
クラブ米山奨学生	０名
SY－A奨学生	１名
計	40名

地　区　大　会

委員長　**鴻　野　眞太郎**（大　阪　西）
幹　　事　**大　富　國　正**（大　阪　西）
プログラム委員長　**鴻　池　忠　彦**（大　阪　西）

国際ロータリー第2660地区の2005～2006年度地区大会は平成17年12月9日(金)・10日(土)リーガロイヤルホテル及び大阪国際会議場において開催されました。

今回の地区大会は、RI会長代理 服部禮次郎氏をお迎えして、また地区内86クラブから会員と家族並びにご来賓をあわせ2,823名のご参加を頂き、大盛況裡に終了することが出来ました。

本大会テーマはRI会長方針を踏まえ、また101年目を迎えたロータリーの第2世紀の初の年ということで、「SERVICE ABOVE SELF 101」と致しました。

大会は一日開催と致しましたが、地区方針の「クラブの充実・魅力あるクラブつくり」職業奉仕について考えよう」について、前日に会長、幹事さんの会長幹事懇談会を開催いたしました。

大会第一日目

◎会長幹事懇談会

ガバナー補佐によるパネルディスカッションが開催されました。テーマの「クラブ運営について」会場内からも意見が有り熱心に討議されました。

引き続き産経新聞ワシントン駐在国際評論家古森義久氏による講演があり、「最新の国際情勢について」会長幹事の皆さんに勉強していただきました。

◎家族の集い

江原啓之氏による記念講演「みんなの幸せのために」ではその愛にあふれた暖かいメッセージが熱く会場の感動を呼びました。

◎RI会長代理 服部禮次郎氏ご夫妻歓迎晩餐会

笹岡隆甫氏による「生け花と音楽のコラボレーション」が催されました。音楽と生け花が華麗に結び合い美しい情景を演出いたしました。

◎大会二日目

大阪国際会議場において朝から本会議が開催されました、諸報告と議事に引き続き神崎ガバナーより大会決議案の採択がされ、盛大にかつ厳粛に式典が催されました。

○午後からは東大名誉教授養老孟司氏に「脳は若返るか」のテーマで基調講演をしていただきました。『バカの壁』が400万部を越えるベストセラーになり、ますます多忙な日々をお

くる養老孟司さんのお話を皆さん楽しくお聞きいただきました。

○お茶席―別室では裏千家高弟によるお茶席を設けました。RI会長代理ご夫妻もお忙しい中、ひとときを楽しんでいただきました。

○懇親会

最後にRI会長代理服部禮次郎氏ご夫妻も参加していただき、懇親会を催しました。二日間に亘る充実した大会を振り返り、RI会長代理服部礼次郎氏からもお褒めの言葉を頂きました。そして更なるロータリー活動への思いを馳せながら和気藹々のうちに大会の幕を閉じました。

今年度はコ・ホストとしてリバーサイドRCの皆さんの献身的なご協力を頂き二つのクラブが力を会わせて素晴らしい大会に出来たことを感謝しております、また、ガバナー補佐を始めガバナー事務所のスタッフの皆さん、関係各位のご協力に心より厚く御礼申し上げる次第です。

ロータリーの友

ロータリーの友　地区委員　**松　中　修　身**（大　阪　西）

『ロータリーの友』誌は、ガバナーの委嘱よる地区委員が発行するということになっております（小林聡一郎『友』誌・常任委員）。従って、ガバナーの『友』誌に対する意向は大きな意味を持つものであることを、始めに地区委員は正しく認識しなければならない。地区の管理運営に超多忙なガバナーは、自らの『友』誌への思いや意見を反映するためと、『友』誌へ地区の情報を流すなどの目配りとして地区委員を委嘱するのであります。

従って、地区委員はガバナーや地区ロータリーアンの意見を反映し、誌面の充実に努め、『友』誌の毎月号のレポートを提出し、『友』誌・合同会議に出席して意見を述べ、地区においては読書率の向上のために様々な持続的な活動を行なわなければなりません。地区委員の活動の究極は、ロータリーのテキストとして『友』誌の読書率の向上を図り、利用の促進を促し、時には原稿を執筆する必要が有ります。しかし、『ロータリーの友』委員会規定の定めるところによる地区委員の任期は一年であります。

1．『友』誌の読書率向上のためには、毎月、各クラブのロータリアンひとり一人に『友』誌が配布される前に、先ず、地区委員自らが『友』誌を読破し、その月号の必読の薦めを「ガイド」として纏めて、全86クラブの雑誌・広報委員長に送付するとう任務があります。
2．地区内の奉仕活動の実際について常に情報を得なければならい。時にはその活動を取材して、積極的に文章にして『友』誌編集局に送らなければならないのであります。
3．『友』誌２月号に2660地区『地区大会』の略報記事。並びに「地区のたより」に『ガバナーわが地区自慢』の記事に併載して、地区内３クラブの奉仕活動を、それぞれ写真入りで掲載するため編集に参画致しました。
4．「ガバナー月信」４月号に、地区委員としての立場で「雑誌月間に寄せて」と題する啓蒙記事を執筆しました。
5．ロータリーの「雑誌月間」に因んで、５RCの例会で卓話を担当しました。また、電話、FAX、e-mail等で、11RCから相談・問い合わせ・指導の要請があり、ひとつ一つ「雑誌月間」に当っての助言を行ない、クラブ雑誌・広報委員長の務めについて進言を行ないました。
6．次期GV年度の地区代表幹事、および次期『友』誌・地区委員、同「ガバナー月信」担当幹事との四者懇談会に臨み、詳しく情報交換を行いました。

『友』誌・地区委員はGVによって委嘱されるが、地区組織表の中には存在を表示されるのみで、実際の活動に当っては『友』誌との連携において多忙を極めるものの、地区組織内ではどの委員会からも協働の呼掛けはなく、また、地区情報・広報委員会にも働きかけたが、場が見出されず（与えられず）孤高な存在であった。しかし、86クラブとの繋がりや雑誌委員長、広報委員長等との関係においては、毎月、ホットな連携が出来たと感謝している。

感謝といえば、GV事務所の担当者が一年間にわたって、地区内各クラブとの密接な連携に協力してくれたことに、特に感謝を付加して「ロータリーの友・地区委員」の報告を終わります。

財務委員会

委員長 **松尾雅明**（大阪西）
委　員 **枡田圭児**（大阪北）
同 **湯浅光章**（大阪南）
会　計 **小寺隆弘**（大阪西）

地区財政の緊縮化を図ろうとされたここ数年の財務委員会の努力を踏襲し、さらなる支出の削減を目標にした予算を編成し執行致しましたが、目標はほぼ達成されたものと考えております。特記事項として、当初予算ではガバナー事務所の家賃の一部を活動資金で負担することとしていましたが、財務委員会で再度検討した結果、従来通り運営資金に一本化するのが妥当であるという結論に達し、またその他補正すべき事項が生じたため期中において補正予算を編成し承認いただきました。

本年度の決算の概要は以下のとおりです。

（1）一般会計

○地区運営資金

収入については、地区会員数を当初4,100名と想定していましたが、年度を通じてそれを上回る会員数を維持したため、雑収入等と合わせ46,650,584円となりました。支出については、ガバナー事務所経費の削減を最大の課題として対処した結果39,642,465円の支出となりました。特にガバナー事務所関係の支出については前年比2,238,686円の減額となりかなり改善されたと考えます。当期収支差額は7,008,119円となりました。

○地区活動資金

収入については、運営資金同様に地区会員数が当初の想定を上回った結果31,516,875円となりました。支出については、各委員会に対し前年度予算10%減の支出を要請し協力頂いた結果25,447,219円となりました。当期収支差額は6,069,656円となりました。

以上により一般会計の繰越金残高は38,949,636円となりました。

（2）特別会計及び基金

○地区大会資金

前年度繰越金8,000,000円と今年度の地区資金29,180,000円を地区大会会計に充当しました。地区大会会計での剰余金5,854,333円を次年度へ繰り越しました。

○世界社会奉仕基金

次年度に480,919円繰り越しました。

○RI規定審議会派遣積立金

補正予算において新設したもので今年度分200,000円と前年度の積立不足200,000円の合計400,000円を次年度に繰り越しました。

○地区基金

前年度繰越金をそのまま次年度に繰り越しました。

○地区広報活動基金

前年度繰越金をそのまま次年度に繰り越しました。

以上により特別会計及び基金の繰越金残高は29,453,658円となりました。

以上の結果一般会計、特別会計及び基金を合わせると68,403,294円の繰越金残高が生じています。地区財政の健全化の観点からある程度の資金の確保は必要ですが、過剰な傾向にあると思われます。今後地区資金の繰越残高の適正性について検討する余地があると考えます。

２００５～２００６年度　国際ロータリー第２６６０地区　地区資金決算書

２００５年7月1日～２００６年6月３０日

ガバナー　神崎　茂
地区財務委員長　松尾　雅明
地区会計　小寺　隆弘

地区運営資金

【収入の部】　（単位：円）

科　目	予算額	実　績	備　考
1．地区資金	39,396,500	39,921,375	
2．ＲＩ助成金	2,322,455	2,326,729	
3．雑収入	4,000,000	4,402,480	
収入合計	45,718,955	46,650,584	

【支出の部】　（単位：円）

科　目	予算額	実　績	備　考
A．負担金			
1．ガバナー会	820,000	832,200	
2．ロータリー文庫	1,230,000	1,248,200	
3．平和奨学生支援協力金	61,500	62,610	
小　計	2,111,500	2,143,010	
B．会議費			
1．地区チームＬＴＳ	70,000	56,521	
2．会長エレクトＴＳ	800,000	513,740	
3．地区合同委員会	1,300,000	965,890	
4．財団セミナー	650,000	624,880	
5．ＤＧＰＧＧＥ会議	1,000,000	350,568	
6．Ｇ補佐・地区幹事会	100,000	11,890	
7．ＧＥ国際協議会	730,000	730,000	
8．予備費	200,000	0	
小　計	4,850,000	3,253,489	
C．ガバナー事務所費	31,876,000	28,108,352	内訳別掲
D．ガバナー月信費	6,000,000	6,006,099	
E．ガバナー補佐経費	500,000	31,515	
F．直前ＤＧ記念品	100,000	100,000	
G．総予備費	281,455	0	
支出合計	45,718,955	39,642,465	
年度収支差額	0	7,008,119	
前期繰越金	5,753,469	5,753,469	
次期繰越金	5,753,469	12,761,588	

ガバナー事務所経費

（単位：円）

科　目	予算額	実　績	備　考
1．家賃・光熱費	5,000,000	4,479,478	
2．給料・手当	18,000,000	17,060,070	
3．厚生費	2,000,000	2,394,089	
4．コンピューター関係費用	356,000	347,900	
5．ＤＧＧＥ交通会合費	600,000	579,780	
6．印刷費	1,500,000	1,424,687	
7．通信費	1,500,000	1,343,021	
8．文献費	100,000	59,254	
9．事務用品費	900,000	193,521	
10．什器備品費	200,000	13,900	
11．雑　費	1,600,000	212,652	
12．予備費	120,000	0	
合　計	31,876,000	28,108,352	

※今年度地区資金決算書の予算額は2006年1月31日に作成した補正予算額です。

地区活動資金

【収入の部】 (単位:円)

科　目	予算額	実　績	備　考
1．地区資金	31,102,500	31,516,875	
収入合計	31,102,500	31,516,875	

【支出の部】 (単位:円)

科　目	予算額	実　績	備　考
A．地区委員会活動費			
1．DG指名(委)	100,000	1,585	
2．意義ある業績賞(委)	30,000	645	
3．クラブ奉仕部門			
クラブ奉仕(委)	200,000	50,999	
拡大・増強(委)	200,000	175,783	
情報・広報(委)	300,000	483,447	
4．職業奉仕部門			
職業奉仕(委)	380,000	374,425	
5．社会奉仕部門			
社会奉仕(委)	700,000	631,219	
6．青少年奉仕部門			
新世代合同委員長会議	20,000	9,783	
青少年活動(委)	2,730,000	2,815,529	
ローターアクト(委)	4,630,000	4,481,833	
インターアクト(委)	2,180,000	2,232,744	
7．国際奉仕部門			
国際奉仕(委)	50,000	4,586	
世界社会奉仕(委)	463,000	171,293	
青少年交換(委)	10,020,000	9,610,784	
8．ロータリー財団部門			
ロータリー財団(委)	110,000	111,715	
財団情報・増進(委)	60,000	68,792	
財団奨学金・学友(委)	1,337,000	728,892	
研究グループ交換(委)	1,000,000	646,595	
財団人道的補助金(委)	100,000	43,558	
9．米山奨学部門			
米山奨学(委)	430,000	3,012	
10．RI規定審議会派遣積立金	200,000	200,000	
11．予備費	800,000	200,000	※
小　計	26,040,000	23,047,219	
B．RI会長DG強調事業費	1,000,000	0	
C．I.M.広報活動補助金	2,400,000	2,400,000	
支出合計	29,440,000	25,447,219	
年度収支差額	1,662,500	6,069,656	
前期繰越金	20,118,392	20,118,392	
次期繰越金	21,780,892	26,188,048	

※予備費の使用額200,000円はRI規定審議会派遣積立金の前年度積立分です。

地区基金

(単位:円)

科　目	予算額	実　績	備　考
前期繰越金	20,000,044	20,000,044	
次期繰越金	20,000,044	20,000,044	

地区広報基金

(単位:円)

科　目	予算額	実　績	備　考
前期繰越金	2,718,362	2,718,362	
次期繰越金	2,718,362	2,718,362	

特別会計

1. 地区大会資金

(単位:円)

科　目	予算額	実　績	備　考
前期繰越金	8,000,000	8,000,000	
地区資金	20,735,000	21,180,000	
地区大会会計へ	28,735,000	29,180,000	
地区大会会計から戻入	0	5,854,333	
次期繰越金	0	5,854,333	

※地区大会会計の詳細については地区大会記録集に収支計算書を掲載しております。

2. 米山奨学生活動費

米山奨学委員会
委員長：山本　和雄

【収入の部】

(単位:円)

科　目	予算額	実　績	備　考
(財)米山記念奨学会より	1,580,000	1,580,000	
選考試験補助金		585,000	
カウンセラー研修会補助金		129,500	
レクリエーション登録料		284,900	
米山奨学歓送会登録料		115,000	
受取利息		5	
収入合計	1,580,000	2,694,405	

【支出の部】

(単位:円)

科　目		予算額	実　績	備　考
米山活動費	カウンセラー研修会	1,580,000	226,958	
	情報交換会		236,089	
	レクリエーション		833,925	
	選考会		203,965	
	歓送会		522,400	
	オリエンテーション		483,281	
	郵送費		88,779	
	印刷費		59,912	
	雑　費		17,305	
	(財)米山記念奨学会へ返金		21,791	
支出合計		1,580,000	2,694,405	
年度収支差額		0	0	
前期繰越金		0	0	
次期繰越金		0	0	

特別会計

3. 世界社会奉仕基金

世界社会奉仕委員会
委員長：植村　宏一郎

【収入の部】　(単位:円)

科　目	予算額	実　績	備　考
クラブ拠出金		3,285,000	
受取利息		3	
収入合計		3,285,003	

【支出の部】　(単位:円)

科　目	予算額	実　績	備　考
プロジェクト資金		5,995,634	
振込手数料		31,854	
支出合計		6,027,488	
年度収支差額		-2,742,485	
前期繰越金	3,223,404	3,223,404	
次期繰越金	3,223,404	480,919	

4. ＲＩ規定審議会派遣積立金

(単位:円)

科　目	予算額	実　績	備　考
地区活動資金より組入れ	400,000	400,000	
次期繰越金	400,000	400,000	

監　査　報　告

私は、国際ロータリー第2660地区の2005～2006年度　地区運営資金、地区活動資金および特別会計について監査した結果、正確適正であることを確認します。

2006年 8 月 22 日

会計監査　高谷晋介